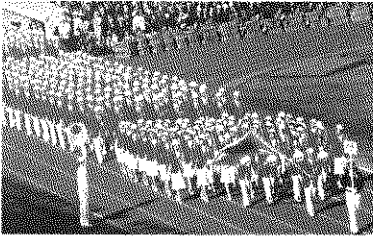
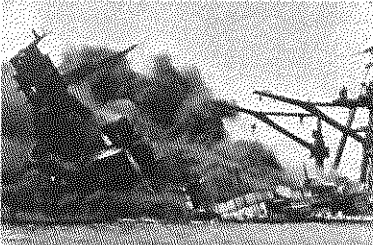
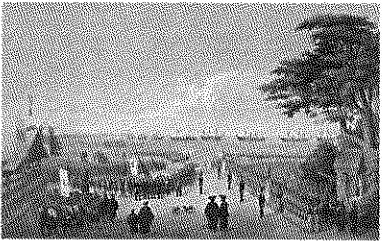
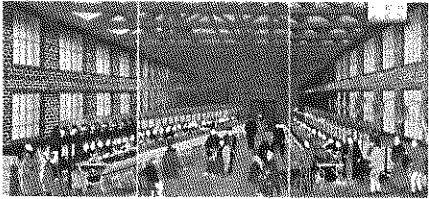


社 会

1 次のA～Eの文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

A	この年、アジアで初となるオリンピックが東京で行われました。このころの日本の産業は、急速に成長しており、オリンピックを見に来た外国の人々は、日本の復興ぶりに目を見張りました。ギリシャで点火された聖火は、アジア各地を空路と地上でリレーされ、沖縄を経て、日本本土に運ばれました。国内では約10万人の人々が聖火リレーに参加し、最終走者は、1945年8月6日に広島に生まれた青年が務めました。	
B	この年の12月8日、日本はハワイの真珠湾にあるアメリカの海軍基地を攻撃し、ほぼ同時に、イギリス領のマレー半島にも上陸しました。こうして、日本はアメリカやイギリスとも戦争を始め、戦場は太平洋の島々にまで広がっていきました。	
C	この年、4世きの軍艦が浦賀（神奈川県）沖に現れました。アメリカの使節ペリーが、日本の開国を求める大統領からの手紙を持ってやってきたのです。江戸幕府は、手紙を受け取ったものの、鎖国を続けるか開国するかを決めることができず、返事を延ばしました。翌年、ペリーは再び軍艦を率いて現れ、開国をせまりました。アメリカの武力をおそれた幕府は、要求を受け入れ、日米和親条約を結んで、下田（静岡県）と函館（北海道）の2港を開きました。 その後、日本はアメリカと日米修好通商条約を結び、横浜や長崎などでの貿易を認めました。	
D	この年、江戸幕府に代わって、天皇を中心とした政府がつくられました。政府は、五箇条の御誓文を発表し、政治の方針を示し、江戸を東京と改めて首都とし、年号も明治と変えました。明治政府は近代的な産業をおこすために、国の費用で外国から機械を買い入れ、製糸場や兵器工場などの官営工場をつくりました。そして、各分野で、高い給料をはらって外国から技術者や学者を招き、進んだ技術や知識を教わりました。また、武士の軍隊に代えて、国民中心の軍隊をつくるために、20才になった男子すべてに兵役の義務を定めた徴兵令を出し、富国強兵に力を入れました。	
E	この年、東大寺では大仏の完成を祝う開眼式が盛大に行われました。アジアの国々からも僧が招かれ、日本や外国のおどりや音楽がひろうされました。大仏づくりには、すぐれた技術をもつ渡来人たちが活躍し、のべ260万人以上の人々が何年も働いて完成させました。	

(1) A～Eの文章中の「この年」を、古いものから順に並べ、A～Eの記号で答えなさい。

(2) Aの文章の——部について述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 中学校や高校を卒業した若者たちが、地方から都会の工場や会社で就職して、経済発展を支えた。
- イ. 東京と大阪の間には東海道新幹線がつくられ、移動の時間が大幅に短くなり、高速道路なども建設された。
- ウ. 役所や学校をはじめ、レンガづくりなどの西洋風の建物が増え、欧米と同じ太陽暦が採用された。
- エ. 各家庭には、テレビや電気洗濯機、冷蔵庫などの電気製品が普及し、国民の生活は豊かになった。

(3) Bの文章の——部にいたるまでの出来事について述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 満州事変で日本軍が満州を占領すると、日本は中国から切り離して満州国として独立させ、政治の実権をにぎった。
- イ. 国際連盟は満州国の独立を認め、その後、日本はソビエト連邦と対立するようになった。
- ウ. 日本軍と中国軍がペキン郊外でしょうとつして、それが中国各地に広がって、全面的な日中戦争となった。
- エ. 日本はドイツ・イタリアと同盟を結ぶとともに、石油やゴムなどの資源を求めて、東南アジアに軍隊を送った。

社 会

(4) Cの文章の——部と同様の条約を、幕府はオランダ・ロシア・イギリス・フランスとも結びました。これらの修好通商条約は日本にとって、次の2つの点において、不利で不平等な内容のものでした。

- i) 外国人が日本国内で罪をおかしても、日本の法律で裁くことができない。(領事裁判権を認める)
ii) 外国からの輸入品にかかる税金を自由に決める権利(関税自主権)がない。

① ii) の内容が、なぜ日本にとって不利になるのかを、説明しなさい。

② 不平等条約が改正されるまでの出来事を述べた次の文のうち、古いものから順に並べて3番目の出来事を記号で答えなさい。

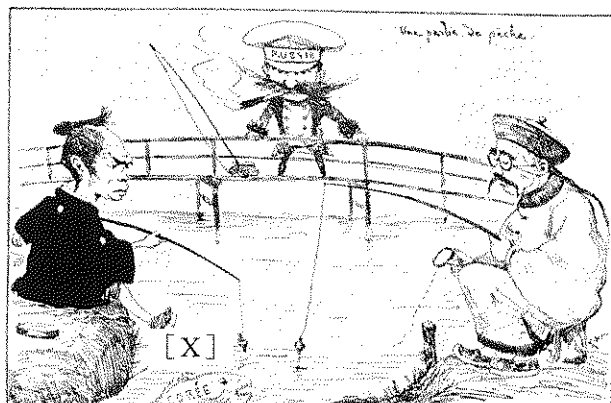
- ア. 小村寿太郎が外務大臣のとき、日本が輸入品に自由に関税をかける権利が確立した。
イ. 陸奥宗光が外務大臣のとき、イギリスとの交渉に成功して、日本の法律で外国人の裁判ができるように改正された。
ウ. 満州で勢力をひろげるロシアに対する危機感が高まり、日露戦争がはじまった。
エ. イギリスの貨物船ノルマントン号が和歌山県沖の海で沈没する事件がおきた。

(5) Dの文章の——部「明治政府」の政策について述べた次の文のうち、正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 国の収入を安定させるために、これまでの年貢に代わって、土地の価格に応じた地租という税金を取る地租改正を行った。
イ. 天皇中心の国づくりを進めるために、冠位十二階を定め、家柄や出身地に関係なく能力や功績で役人を取り立てた。
ウ. 民主的な社会をつくるために、選挙法を改正し、20才以上のすべての男女に選挙権が保障されるようにした。
エ. 外国との貿易をさかんにするために、大名や商人に朱印状という許可状をあたえて貿易を保護した。
オ. 政治の方針が日本中に広まるようにするために、藩を廃止し、新たに県や府を置き、政府が任命した役人に治めさせた。

(6) Dの文章の——部「富国強兵」政策のもと、日本は西洋に負けない国づくりをすすめていきました。

- ① 右の絵は、当時の国際関係を皮肉をこめて描いた風刺画です。この絵に描かれている魚「X」は、ある国を表しています。
「X」にあてはまる国名を答えなさい。

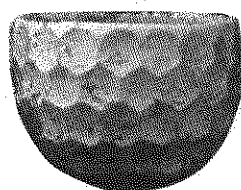


- ② この絵で描かれている左の人物は、日本を表しています。
他の2人の人物の国名を必ず書いて、「[X] の国をめぐる」で始まる文章で当時の国際関係を説明しなさい。

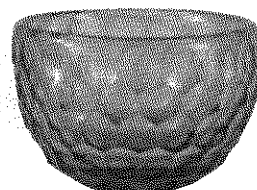
(7) Eの文章の——部には、正倉院という建物があります。正倉院には聖武天皇が愛用したものをはじめ、約9000点の宝物が収められています。その中には、右の写真の器のように、遠く離れたペルシャ(今のイラン)の文化の影響を受けた品物もありました。

このころの中国は、ヨーロッパにつながる交易路を通して、広い地域と交流をもっていました。奈良は中国を通じて、世界の文化とつながっていたのです。

下の写真の中から正倉院の宝物として正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。



ペルシャ出土の器

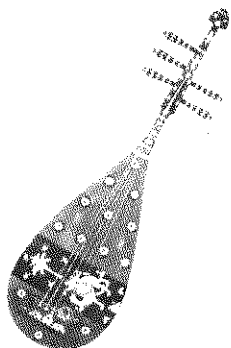


正倉院の器

ア. 鉄砲



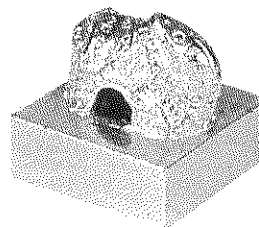
イ. 琵琶



ウ. 有田焼



エ. 金印



社 会

2 太郎君のクラスでは、日本の食料生産や工業生産の特色について学習し、話し合いをしました。これを読んであとの各問いに答えなさい。

春子：これまでの日本の食料生産についての学習から、農家や漁師の人たちはさまざまな工夫や努力をして、食料生産を続けていることがわかりました。新潟県南魚沼市のある農家では、なるべく農薬を使わない米づくりに取り組んでいます。また、水産業のさかんな長崎県では、漁港やそのまわりに水産加工施設や冷凍倉庫などを整え、魚の種類に応じた方法でとる漁業をおこなっています。

夏子：米づくりをはじめ、農家の人たちは安全でおいしい食料をとどけようとしてくれていることがよくわかりました。また、①漁師の人たちは水産資源を保ち続けたり、回復させたりするための取り組みをしています。

太郎：でも、日本の食料自給率は、農林水産省の調べ（2015年）によると、米は98%あるけれど、肉や魚は50%少しぐらいで、小麦は15%しかなくて、輸入にたよっている実態もわかりました。

春子：そうですね。②多くの食料品を輸入にたよっていることは不安なことたくさんあります。だから、わたしは、日本で暮らす人たちが、もっと国内で生産される食料を食べたほうがいいと思います。

夏子：わたしも国産の食料をできるだけ選んで食べたいと思います。でも、輸入された食料は、国内でつくられた食料とともにさまざまな料理に使われ、わたしたちの食生活を支えているので、必要な分を輸入することも大切だと思います。

太郎：夏子さんの意見につけたすと、ぼくはまず食料をむだにしないことが大事だと思います。そうすれば、食料の輸入が少なくてすむかもしれません。

春子：日本の工業生産の学習では、日本の工業地域が時代によって変化してきたことを学びました。関東地方の南部から九州地方の北部にかけて、「太平洋ベルト」とよばれた工業のさかんな地域が海岸沿いに広がっていったこと、その後、新しい工業地域ができ、③工場が海から離れた内陸の地域にも広がっていることがわかりました。

太郎：工業生産で働く人々のさまざまな工夫や努力についても学んだけれど、日本全体の工場の数の変化を見ると、その数は減ってきています。このまま減り続けると心配です。

春子：国内の工業生産が少なくなっていて、輸入にたよることになるのが心配です。

夏子：1980年以降、日本の工場の数が減ってきた背景には、日本の会社が ために、工場を海外に移転していたこともありました。

春子：工場が減ると、働く人も減っていくと思います。日本のものづくりの技術が受け継がれない心配があります。

太郎：ぼくは、すぐれた工業製品がつくられている日本で、工場数が減っているのはもったいないと思います。国内のすぐれた製品のことをもっと多くの人に知ってもらい、日本のものづくりに興味をもってもらうことが大切だと思います。

年	工場の数(万)
1970 (昭和45)	65
80	73
90	73
2000	60
2012年 (平成24)	42

日本の工場の数の変化（経済産業省）

- (1) 文章中の「新潟県南魚沼市」付近の気温と降水量を表したグラフを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア.

イ.

ウ.

エ.
-
- (気象庁ホームページより)
- (2) 農家の人たちの「安全でおいしい食料をとどけよう」として工夫や努力をしていることについて述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 米ぶくろに、農薬や化学肥料の使用をおさえた米であることを知らせる表示をしている。

イ. むかやもみがらなどを土に混ぜて、栄養分の少ない土をつくり、雑草の成長をおさえている。

ウ. 無農薬や有機さいばいの米をつくって、消費者に直接とどける産地直送に取り組んでいる。

エ. 牛やぶたのふん尿や稲のわらなどを混ぜて発酵させた堆肥を肥料として使っている。

社 会

(3) 文章中の下線部①のような「水産物の資源管理」の取り組みについて述べた次の文のうち、あてはまらないものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 海に流れこむ川の上流に苗木を植える取り組みを行っている。
- イ. 音波を出して魚群がどこにいるのかがわかる魚群探知機を活用している。
- ウ. 魚種によって休漁期間を設け、小さな魚を捕りすぎないようにしている。
- エ. 魚のたまごをかえして、ある程度の大きさまで人の手で育ててから、海に放流している。
- オ. 魚の集まる場所や魚のすみかとなる場所を人工的につくったり、藻場を回復させる取り組みを行ったりしている。

(4) 文章中の下線部②のような「食料の輸入に対する不安」について述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 輸入される食料は国産の食料にくらべ、どこで、だれが、どのように生産しているのかがわかりにくく、安全性を心配する声もある。
- イ. 食料生産は天候や災害、病気などの影響を受けやすく、もし外国から食料の輸入ができなくなると、人々の生活に支障が出ることもある。
- ウ. 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)という取り決めに参加すると、外国の高い値段の食料を輸入しなければいけなくなるので、日本の食料生産に与える影響が心配される。
- エ. 外国との競争がはげしくなると、国内でつくった作物が、外国の安い作物と同じような値段でしか売れなくなり、質の良い作物をつくり続けることがむずかしくなる。

(5) 文章中の下線部③の「工場が海から離れた内陸の地域にも広がっている」理由を、「トラック」という語句を使って、20字程度で答えなさい。

(6) 文章中の にあてはまる文を、「賃金」という語句を使って、20字程度で答えなさい。

③ 次の文章は、日本国憲法の前文を一部要約したものです。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

日本国民は、わたしたちと子孫のために、世界の国々と親しく交わり、国内に自由の恵みをみなぎらせることが、国民を幸福にするものであると信じる。そして、政府の行いによってこれから二度と戦争の起こることのないようにしようと決意するとともに、ここに国の政治のあり方を決める力は、わたしたち国民にあることを宣言して、この憲法をつくった。

日本国民は、世界がいつまでも、平和であることを願う。そして、平和を愛する世界の人々の公正さと正義を信頼して、安全に暮らしていこうと決意した。

わたしたちは、正しい政治のやり方は、どこの国にも通用するもので、これに従いながら自分の国の独立を保ち、他の国と対等につき合うことが大事だと信じる。

日本国民は、国家の名誉にかけて、全力をあげて、この憲法の高い理想を実現することをちかう。

(1) 日本国憲法の「三原則」を、すべて答えなさい。

(2) 文章中の下線部「国の政治」のしくみについて述べた次の文のうち、まちがっているものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 国会は、国のすすむ方向を決める大切な機関で、衆議院と参議院では、国民の生活にかかわる法律や予算を決めたりする。
- イ. 国民の代表者である衆議院と参議院の国会議員の数は同じで、国会での話し合いは、衆議院と参議院のそれぞれでおこない、話し合ったことを多数決で決める。
- ウ. 内閣の最高責任者は内閣総理大臣であり、国会議員の中から選ばれ、各省などの長である国務大臣を任命する。
- エ. 内閣は、法律案や予算案をつくって、国会に提出したり、国会が決めた法律が憲法に違反していないかどうか判断する。
- オ. 裁判所は、人々の間で争いごとや犯罪が起こったときに、憲法や法律にもとづいて判断し、解決する。
- カ. 刑事裁判で、訴えられた人が有罪か無罪か、有罪であればどのような刑にするのが適当かを、国民の中からくじで選ばれた裁判員が、裁判官とともに話し合い、判断する制度がある。

(3) 文章中の下線部「憲法の高い理想を実現」し、より良い社会を実現するためのしくみとしての「選挙」について述べた次の文のうち、まちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 国民は、18才になると、市町村や都道府県・国の議員を選ぶことができる。
- イ. 選挙の投票日に決められた投票場所に行けない場合は、事前に投票することができる。
- ウ. 日本に住むすべての人は、憲法と法律で投票する義務があると定められている。
- エ. 仕事での滞在先や入院中の病院などで投票することができる不在者投票という制度がある。

平成30年度

解答用紙(社会)

受検 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

得 点	
--------	--

1 (1)

→	→	→	→
---	---	---	---

 (2)

--

 (3)

--

(4) ①

--

 ②

--

(5)

--	--

 (6) ①

--

(6) ② [X] の国をめぐって、 (7)

--

--

2 (1)

--

 (2)

--

 (3)

--

(4)

--

 (5)

--

(6)

--

3 (1)

--	--	--

(2)

--	--

 (3)

--